JA静岡経済連

経済連情報 7

安全・安心・新鮮でおいしい
静岡県産の農畜産物をお届けします。

2024. 7
NO.1318

組合員のくらしをサポートし、期待やニーズに応える提案を行う「資産活用課」と「一級建築士事務所」

▲第74回通常総会

▲「ごちそうカントリー」の番組収録と放送

Main topics

組合員のくらしをサポートし、期待やニーズに応える提案を行う「資産活用課」と「一級建築士事務所」 …01

topics&news

令和5年度決算の承認
静岡県経済農業協同組合連合会第74回通常総会 …03
農業機械課の取組を紹介
「ごちそうカントリー」番組収録と放送 ……03
食肉生産・流通体制の強化へ
静岡県食肉センター起工式を開催 ……04
和牛の安定供給へ
和牛登録協会「中部ブロック会議」を開催 …04
未来の柑橘生産に向けて
西部柑橘技術者協議会春季研修会を開催…05
子会社との情報共有
第1回子会社等経営会議 ……05
県産農産物をPR
イオンで静岡県産フェアを開催 ……06
県産農産物の消費拡大へ
東京都内の青果店で「葉しょうが」宣伝会を開催…06

営農支援だより

営農支援だより ……07

お知らせ

人事教育課からのお知らせ ……08
「駿府の肉処 静岡そだち」からのお知らせ ……08
テレビ番組「しずおかごはんが食べたい!」のご紹介 …09
テレビ番組「しずおかバカ売れの法則」のご紹介……09
職員紹介……10

main topics
メイントピックス

組合員のくらしをサポートし、期待やニーズに応える提案を行う「資産活用課」と「一級建築士事務所」

Ⅰ はじめに

本会は、令和6年度のスタートにあたり、次期3か年計画の樹立を見据え、本会の経営状況に即した体制整備を行うとともに、JA事業へのサポート体制の強化を図るため、機構改編を実施しました。

その中で、これまで建設部が担っていた施設農住事業をくらし支援部に移管しました。また、建設課は「資産活用課」へと名称を改め4月より新たな体制でスタートを切りました。

今回のメイントピックスでは、本会の施設農住事業について、資産活用課と一級建築士事務所の取組を詳しくご紹介します。

Ⅱ 事業概要

くらし支援部が担当する施設農住事業は、資産活用課が施設建設委任契約方式によるJA保有施設・農業用施設等の建設サポート、組合員の資産活用として賃貸住宅等の建設やリフォーム等のサポートおよび宅建業務を担当。一級建築士事務所が、建物等の設計、工事監理などの業務を担当しています。また、宅建士、一級建築士などの有資格者が在籍し、土地活用や建築設計など様々な場面で活躍しています。

Ⅲ 事業内容

1. 施設建設委任契約方式の推進

「施設建設委任契約方式」は、JAグループ独自の建築支援方式で、建設計画から設計・工事管理までを施主に代わり行います。施主の要望や意向を把握し、計画を立て、その土地にあったプランを提案・設計します。また、施主に代わって建設中の現場に入り、本会一級建築士の独自チェックにより安全で安心できる建物を責任をもって引き渡します。

2. 土地活用の提案

都市化の進行や後継者不足等による営農の継続が困難な農地、相続税・地価高騰に伴う課税引き上げ等の税務対策などを総合的に診断し、土地の有効活用を提案しています。

土地活用方法として、賃貸住宅・介護施設・流通店舗等の建築提案をはじめ、個人住宅や住宅耐震工事などの提案をJAグループならではの総合力で安心サポートします。

3. 個性豊かな建築設計

地域に調和し洗練されたJAの店舗から農業関連施設まで、最新の技術や豊富な経験に裏づけされたノウハウを駆使して、本会の一級建築士がその土地・環境・ニーズに合った計画を提案し、設計図を作成します。

4. 独自管理による工事監理

施工業者の品質チェックとは別に、設計図面どおりに施工されているかなどを建築の重要なポイントごとに一級建築士が厳しく工事の検査を実施します。安心して使用できる建物を完成させるため、的確な工事監理を行います。

① 相続・節税対策、土地活用の資産活用のアドバイス
② 敷地を調査し資産活用をご提案
③ 敷地を調査し建築プラン等をご提案
④ メーカー等の業者決定、仮契約、総合金額等を検討
⑤ 施設建設委任契約・着工（JA静岡経済連による工事管理・検査）
⑥ 完成・メーカー社内竣工検査
⑦ JA静岡経済連の竣工検査、引き渡し

▲土地活用における施設建設委任契約方式の概要

Ⅳ 取組事項

資産活用課および一級建築士事務所は令和6年度の事業計画の達成に向け、次の事業に重点的に取り組みます。

1. 建設事業における JA施設再編整備の支援

JA施設計画の計画提案の実施基本設計・実施設計業務の受注や既存建物の長寿命化計画を推進し長期修繕計画提案を実施します。

2. JA組合員の相続相談、資産活用相談の支援

JA担当部署と連携し、組合員の相続情報や土地活用の要望事項について計画的に提案します。

▲スターバックスコーヒー裾野伊豆島田店

直近の土地活用事例として、スターバックスコーヒーを誘致し、裾野伊豆島田店が完成しました。

3. JA組合員のリフォーム工事等相談の支援

JA担当部署と連携し、組合員の個人住宅などのリフォーム工事等の物件を受注。経済事業の一環としてリフォーム工事供給に新規または継続して取り組むJAを支援します。

▼一級建築士事務所 設計事例

ひらまクリニック（長泉町）

JAふじ伊豆韮山支店

JAふじ伊豆 天翔苑長泉

中日本ファームすずなり 浜松集出荷場

Ⅴ おわりに

今回のメイントピックスでは今年度よりくらし支援部の所管となった資産活用課と一級建築士事務所が取り組む本会の施設農住事業について詳しくご紹介しました。

本会は、多種多彩な建築実績の中で培ってきた技術とノウハウを活かし、大きく変化する農業情勢を見据えながら、組合員の皆様のくらしをサポートできるよう、県下JAと一体となって取り組んでいます。また、利用者の期待やニーズに応えるため、各部門間での連携を強化し、情報共有を図りながらより最適な事業を提案してまいります。

▲県下JA物件情報ウェブサイト「ハーモニックホーム」はこちら

問い合わせ先

● **くらし支援部　資産活用課**
電話：
054－284－9523（建設係）
054－284－9524（開発係）

● **くらし支援部　一級建築士事務所**
電話：054－284－9526

令和5年度決算の承認
静岡県経済農業協同組合連合会第74回通常総会

本会は6月28日、県農業会館で「静岡県経済農業協同組合連合会第74回通常総会」を開き、県内ＪＡの組合長や関係者らが出席しました。

総会では、河原﨑友二経営管理委員会会長より挨拶が行われ、議事として石川和弘代表理事理事長より第74年度決算書類の承認について上程し、承認されました。

▲挨拶をする河原﨑会長

▲決議事項の説明をする石川理事長

農業機械課の取組を紹介
「ごちそうカントリー」番組収録と放送

6月23日放送のテレビ番組「ごちそうカントリー」（静岡第一テレビ・毎週日曜日昼11時40分放送）では、本会が担当回となり、「農業機械」をテーマに、県内ＪＡと本会農業機械課の取組について特集しました。

番組では、ＪＡ遠州夢咲の生産者、黒田直さんのほ場から農業機械の機能や役割、ＪＡの整備事業について紹介した他、ＩＣＴを活用した田植機の試乗などを行いました。

▲アナウンサーへラジコン草刈機を紹介する増田担当

本会からは農業機械課の増田涼太担当が出演し、ラジコン草刈機の実演を行い、最新のスマート農機をＰＲしました。

また、視聴者プレゼントのコーナーでは「静岡茶揉一ひとえつゆひかりブレンド」を紹介し、応募のあった視聴者の中から抽選で選ばれた5人に提供しました。

番組のアーカイブは動画投稿サイト「YouTube」の静岡第一テレビ公式チャンネルで視聴可能です。

▲農業機械について説明する黒田さん（右）とJA遠州夢咲の赤堀守課長補佐（左）

▲田植機に試乗する國本良博アナウンサー

食肉生産・流通体制の強化へ

静岡県食肉センター起工式を開催

5月15日、県が令和8年度の供用開始を予定する「静岡県食肉センター」の起工式が小笠食肉センターで行われ、県や周辺市町、JA、施工業者などから関係者約90人が出席しました。

新食肉センターの設置は、県内2施設（小笠食肉センター・浜松市食肉地方卸売市場）の老朽化に伴うもので、これまでに県や本会、生産者団体などで構成する静岡県食肉センター再編推進協議会が平成26年から協議を進めてきました。

▲起工式のようす

施主を代表し挨拶した増井浩二静岡県副知事は「食肉センターは、県民へ安全安心な畜産物を提供する重要な役割を担う。運営体制の構築を計画的に進めていく」と話しました。

▲起工式に出席した関係者ら

和牛の安定供給へ

和牛登録協会「中部ブロック会議」を開催

全国和牛登録協会は5月16日と17日の2日間、「令和6年度中部ブロック会議」を沼津市内などで開き、本会畜産課やJAなど県内外の畜産関係者ら約40人が参加しました。

本会議は、本県が所属する中部ブロック（13府県）における合同会議で、和牛登録事業に関する情報共有などが目的。今回は、11年ぶりに本県での開催となりました。

▲会議のようす

会議は、ブロック別支部長・登録主任者合同会議、支部長・審査委員合同協議会、審査研究の3部構成となり、令和5年度の事業報告や和牛情勢の共有、全国和牛能力共進会に関する協議などを行いました。本会三島常設家畜市場で行った審査研究では、県内3JAから6頭の研究牛が出品され、和牛の登録審査を行う審査委員を対象に、審査基準の目合わせを実施しました。

▲出品された研究牛を審査する審査員ら

未来の柑橘生産に向けて

西部柑橘技術者協議会春季研修会を開催

静岡県西部柑橘技術者協議会（事務局：西部みかん園芸課）は5月30日、浜松市浜名区の「三ケ日みかん」園地などで春季研修会を開き、県西部のＪＡや県農林事務所などの技術者ら20人が参加しました。

研修会では、丸山製作所の担当者を招き、農業用ドローンによる農薬散布の実証実験を行いました。

▲ドローン散布について説明を受ける参加者

機体は、ＤＪＩ製の「Ｔ25」を使用しました。「Ｔ25」は、樹体や障害物を識別し、園地状況に応じた飛行ルートを自動で生成できることが特徴で、１分間あたりの液剤最大散布量は24Ｌです。

実証では、平坦地と傾斜地の２箇所で水を農薬に見立て、時速４㎞、散布量20Ｌ／10ａで散布し、感水紙を用いて葉面への付着状況を調査しました。ドローンによる散布では平坦地、傾斜地ともに場所により付着にややばらつきが見られ、散布精度が今後の課題となりました。県農林技術研究所果樹研究センターや本会が効果的な散布機体の運用条件や散布薬液の濃度、被覆面積率による防除効果の関係解明に向けた研究を進めています。

同協議会の成澤和久会長は「夏場の高温の中での防除は過酷な作業だが、病害虫の発生も多く、手を抜くことが難しい現状。今後普及が進めば生産者の作業負担が軽減し、産地の維持拡大につながる」と話し期待を込めました。

▲ドローンによる散布のようす

▲感水紙による液剤付着状況の調査

子会社との情報共有

第1回子会社等経営会議

企画管理部は5月27日、静岡市内で「令和６年度第１回子会社等経営会議」を開き、関係８社（静岡ローディング㈱、静岡県車輌サービス㈱、静岡県フィッシュミール㈱、ジェイエイ静岡燃料サービス㈱、浜松食肉加工㈱、㈱静岡県農協電算センター、㈱農協葬祭、㈱静経ライス）などから20人が出席しました。

会議では本会から令和５年度決算や事業報告、令和６年度事業計画などを共有。各社から令和５年度決算報告とコンプライアンスプログラムの実施状況について説明がありました。

県産農産物をPR

イオンで静岡県産フェアを開催

全国に総合スーパーを展開するイオンリテールは5月30日から6月2日の4日間、静岡県・愛知県・三重県・岐阜県の「イオン」「イオンスタイル」64店舗と和歌山県の1店舗で静岡県産フェアを開き、JAとぴあ浜松産の「三方原馬鈴薯」やJAしみず産の「枝豆(駒豆)」などの静岡県産農産物を販売しました。

本会名古屋事務所は、名古屋市内のイオン大高店で県産フェアの開催に合わせ、「三方原馬鈴薯」の試食宣伝を実施し、同事務所と調味料メーカーの理研ビタミンが連携し、同社の「リケンのノンオイルくせになるうま塩」を使用したコラボレシピを来店客へPRしました。本会と理研ビタミンは2月にも県産の新タマネギ「はるたま」でコラボレシピを提案し、店頭での試食宣伝やSNSでのレシピ動画配信などのPRを行っています。取組を通じた食べ方の提案で青果物と調味料の相性の良さを消費者にアピールし、県産農産物の取り扱い拡大を目指します。

▲試食宣伝のようす

▲コラボレシピ「たこと新じゃがいものサラダ」

県産農産物の消費拡大へ

東京都内の青果店で「葉しょうが」宣伝会を開催

東京事務所は6月15日、東京都内の澤光青果大井町店でJA静岡市の特産品、久能産「葉しょうが」の宣伝会を開きました。企画は父の日を前に、消費者へ旬を迎えた新鮮な県産農産物を味わってもらおうと例年開催しています。

今回は「朝採れ」にこだわり、澤光青果の店舗従業員が当日の早朝に産地で収穫作業を体験し、作業のようすをインスタグラムのライブ配信で消費者へ紹介しました。

収穫した葉しょうがは、従業員自ら店頭に並べ、来店客へ鮮度の良さや美味しさをPRしました。収穫体験を通じて出荷から店頭に並ぶまでの流れを体験してもらい、商品知識の向上や県産農産物を売る楽しみにつなげてもらうことが目的。

東京事務所の担当者は「消費地の首都圏から距離が近い産地であるメリットを活かして新鮮さや商品性の高さをPRし、消費拡大につなげていきたい。」と話しました。

▲収穫作業を体験する店舗従業員ら

▲販売のようす

営農支援だより

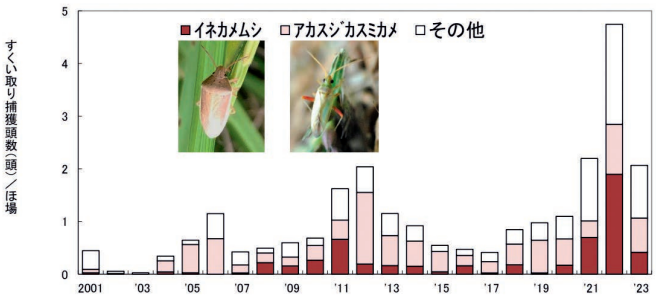
作物・産地・営農・技術・資材などの情報をお届けします

水稲害虫「イネカメムシ」に注意！

近年、米の農産物検査において斑点米などにより格付低下する例が増加しています。斑点米発生の主な要因はカメムシによる被害です。特に、昨年は斑点米だけでなく不稔被害も引き起こす「イネカメムシ」の被害が県下全域で増加しました。本年も広く発生することが予想されます。

ここでは「イネカメムシ」について紹介します。

静岡県内の水田における斑点米カメムシ類捕獲数の推移（8～9月の合計値、本田すくい取り虫数）
※調査年度によって調査は場数（n）は異なる（n=47～50）



（捕獲数　静岡県病害虫防除所提供）

発生生態

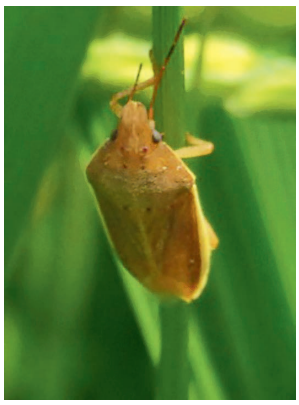
本種は古くからイネの害虫として知られているものの、これまで問題になることは少なく、詳しい生態はまだよくわかっていません。しかし、近年全国的に多発するようになり、警戒が必要な害虫になっています。成虫で越冬し越冬場所は「日当たりの良い傾斜面や冬期温暖な山腹に生えているイネ科植物の株元」で生活しています。

越冬成虫は出穂期前後（7月中旬頃）に水田に飛来して、葉や穂に産卵します。卵は1週間以内に孵化し幼虫は穂を吸汁し発育羽化します。

登熟初期を好むため、早生品種の水田から中生・晩生品種の水田に移動して加害を続けるため被害が拡大します。

形態

成虫は体長13㎜、淡黄褐色で背面には暗褐色の小さな点刻が多数あります。幅は5～5.5㎜程度です。



成虫

幼虫は丸くて扁平で灰緑色、5齢経過して成虫になります。

被害

成虫・幼虫が、出穂後の登熟初期から後期にわたり穂を加害します。登熟初期は籾の基部を吸汁するため籾は不稔となり、被害の大きい穂は傾穂せず直立したままになります。また、登熟中期以降は籾基部を吸汁して斑点米が発生します。日中は株元から葉の下に潜み、主に夜間から朝方に籾を吸汁するので、成虫の存在に気付くことが出来ずに不稔籾の多い穂が直立してから気付くことが多くなりますので、圃場をよく観察します。

早生種での被害は不稔穂の発生が中心です。中生種から晩生種には基部加害型斑点米が多く発生します。

直立した不稔穂

防除対策

イネカメムシはイネの出穂直前から水田に侵入するので、出穂期に重点的に防除を行なうことが被害を防ぐ上で重要になります。

出穂期と穂揃期の7～10日後の2回、穂に薬液がしっかりかかるように散布します。但し、2回目防除後成虫が多い場合は3回目を実施します。使用薬剤は各ＪＡの防除基準に基づいて行ってください。

収穫後は速やかに耕耘し越冬場所を作らないようにします。

（生産振興開発課
コンサルタント　鈴木秀規）

（基部加害型斑点米　静岡県病害虫防除所提供）

人事教育課からのお知らせ

本会が「ふじのくに健康づくり推進事業所」に認定されました!

W第 332 号

ふじのくに健康づくり推進
ホワイト事業所認定証

所 在 地　静岡市　駿河区　曲金　3－8－1
事業所名　静岡県経済農業協同組合連合会

＜健康づくり推進事業所宣言＞
運動機会を奨励して肥満者の割合を減少させる

上記のとおり、従業員の健康づくりに取り組む事業所として認定する

令和６年１月 16 日
静岡県健康福祉部長　八木　敏祐

静岡県健康福祉部長印

静岡県では、企業の健康経営の推進として、従業員の健康度アップの取組に対して「ふじのくに健康づくり推進事業所認定」をしています。本会でも令和6年1月に下記の取り組み内容で認定を受けました。今年度も引き続き同内容で取り組んでまいります。

・認定内容

「ふじのくに健康づくりホワイト事業所」
※取り組み1，2年目がホワイト、3，4年目がブロンズ、5，6年目がシルバー、7年目以降はゴールドと認定区分が上がっていきます。

・健康づくり推進事業所宣言

「運動機会を奨励して肥満者の割合を減少させる」

・取り組みの施策

①「ウォーキングラリー」への積極的な参加
②「ライザップ・チョコザップ」の農団健保主催の初期費用無料等の優遇制度を活用した運動機会の奨励等

「駿府の肉処　静岡そだち」からのお知らせ

本会直営焼肉店「駿府の肉処　静岡そだち」は、6月13日よりグランドメニューが新しくなりました。ランチ、ディナーともに今まで以上に種類豊富なメニューをお楽しみいただけます！ランチ限定のお得なセットメニューもご用意しておりますので、ぜひお越しください！詳細は、静岡そだち公式HPをご確認ください。

■営業時間／ランチ　11：30～14：00（L.O 13：30）
※土日祝は11：00～
ディナー　17：00～22：00（L.O 21：00）

▲ホームページはこちら

▲LINEお友だち登録はこちら

▲お得な平日限定日替わりランチ

担当：営業部　流通開発課（電話 054-284-9728）

テレビ番組

「しずおかごはんが食べたい！」（テレビ静岡）

担当：食糧部 食糧課（TEL:054-284-9737）

静岡県産米麦流通連絡協議会（事務局：食糧部）は、テレビ番組「しずおかごはんが食べたい！」（テレビ静岡・全１１回放送）に協賛し、県産米のPRを行っています。

令和6年度第２回目（６月15日）の放送ではタレントの村上佳菜子さんと北村花絵アナウンサーの二人が富士市と富士宮市から「きぬむすめ」を紹介しました。

番組では、ビデオメッセージで出演したJAふじ伊豆の生産者、仁藤佳奈さんが「東部地区で栽培されるきぬむすめは令和5年産米で特Aを獲得した評価の高いお米です。ぜひ食べてみてください」と話し、「きぬむすめ」の美味しさをPRしました。

テレビ番組

「しずおかバカ売れの法則」（テレビ静岡）

担当：茶業部 茶業課（TEL:054-284-9719）

茶業課は５月25日、テレビ番組「しずおかバカ売れの法則」（毎月最終土曜日17時からテレビ静岡で放送）で、県内JA統一の新商品「揉一ひとえつゆひかりブレンド」を紹介しました。

番組は、お笑い芸人のアンジャッシュ児島一哉さんがMCを務め、静岡で「バカ売れ」している商品を紹介する情報番組で、同課の加用智之課長と流通開発課の服部佑香担当が出演しました。番組では、令和6年産の新茶を使用した同商品を水出し冷茶で試飲し、商品の特徴や静岡茶の美味しさをPRしました。児嶋さんからは「口当たりがよく、まろやかで美味しい」とコメントをいただきました。

商品の詳細はこちら▶

職員紹介

JAや取引先の皆様に推進などでお伺いしている本会職員を紹介します。

趣味・特技

漫画や小説を読むのが好きです。昔の作品から最近のものまで幅広く読んでいます。今一番読んでいるものは「忘却バッテリー」です。昔の作品で好きなものは「ポーの一族」「サイボーグ００７」です。

担当業務

JA 系列のスタンドへ燃料やオイルの受発注を行っています。配送がスムーズになる様に各スタンドとの調整も行っています。また、スタンドで使用する備品やユニフォームの受発注も担当しています。

コメント

入会して三か月がたちました。まだまだ分からないことも多く、オイルに関しても勉強の毎日です。至らない点もあるかと思いますが一日でも早く経済連の職員として皆様のお役に立てるよう頑張ります。

くらし支援部　総合エネルギー課
村松（むらまつ）　歩美奈（ふみな）

くらし支援部　生活葬祭課
片江（かたえ）　愛梨（あいり）

趣味・特技

趣味は、飼っている犬と出かけることです。犬も行けるカフェやイベントを探して県内外へ出かけることが好きです。自分で車を運転できるようになったこともあり、ほぼ毎週末一緒にドライブしています。

担当業務

生活品目事務を主に行っています。その他にも店舗関連事務や伝票販売、書籍販売、生活葬祭課の庶務などを行っています。金額のミスが無いようよく確認することをこれからも意識していきたいです。

コメント

入会して３ヶ月が経とうとしています。初めて聞く言葉も多く毎日学ぶことがたくさんあります。先輩方からたくさんのことを吸収し、一日でも早く戦力となれるよう努めていきたいと思います。ご指導の程よろしくお願いいたします。

JA静岡経済連 経済連情報
毎月1回発行　編集発行／企画　管理課 〒422-8620　静岡県経済農業協同組合　連合会　静岡県静岡市駿河区曲金3丁目8番1号
TEL.054(284)9708　FAX.054(284)9780　http://jashizuoka-keizairen.net　E-mail:keizairen@kei.ja-shizuoka.or.jp

組合員の皆様へ

静岡県ＪＡ特選ドリンク2024

静岡県産茶葉を使用した
すっきり飲みやすい緑茶飲料
本場の味を是非お手土産に

静岡県産茶葉
100%使用

1 静岡茶ゆったり490gボトル缶（490ｇ×24本）

2 静岡茶ゆったり290gミニボトル缶（290ｇ×24本）
静岡茶の香りが感じられ、すっきりした飲み心地が特長です。

太陽の恵み
みかん王国・静岡産温州みかん

3 果実の香り　ぎゅっとみかん
濃縮還元果汁100%（190ｇ×30本）
1缶に静岡県産温州みかん5個分の果汁を使用。無加糖で温州みかん本来の香りと甘さが際立つ、贅沢な味に仕上げました。

【機能性表示食品】
届出表示：本品にはＧＡＢＡが含まれています。ＧＡＢＡには血圧が高めの方の血圧を下げる機能があることが報告されています。本品は血圧が気になる方に適しています。

機能性表示食品
届出番号:E629

4 みかん日和
濃縮還元果汁70%（190ｇ×30本）
砂糖由来のイヌリン（食物繊維）を使用し、従来のみかん飲料より、酸味を抑えさらにおいしく飲みやすくなりました。

機能性表示食品
届出番号:E293

5 本物果汁入り
スパークリングみかん（280ｍｌ×24本）
静岡県産温州みかんの果汁を10%使用し、フレッシュ感の高い柑橘系の香りと“キリッと”パンチのきいた炭酸飲料です。

（数量限定商品）

熱中症
対策商品

6 ポカリスエット
（300ml×24本）
農作業やスポーツなどさまざまなシーンで発汗により体内の水分は失われます。体液に近いイオン（電解質）バランスの飲料なので、水分や電解質をスムーズに補給し、からだを潤すのに適しています。

長野県産
りんご

7 信州・安曇野
りんごジュース
（190ｇ×20本）
信州・安曇野地域のりんご畑で豊かに実ったりんごを丁寧に搾りました。　りんご本来の甘さと程よい酸味がマッチした風味豊かなストレートジュースです。

青森県産
りんご

密閉ストレート

8 青森りんごジュース
密閉搾り
（195ｇ×30本）
完熟青森県産りんご「ふじ」を主体としたストレート果汁100%ジュースです。製造工程で空気がふれないよう特殊製法で作りました。

紀州産
うめ

9 紀州うめドリンク
（195ｇ×30本）
紀州産南高梅を使用したほんのり甘く、やさしい風味の10%果汁梅ドリンクです。

山梨県産
もも

10 ノもモン
（190ｇ×30本）
マイルドな桃のあまみが感じられ、さわやかでスッキリとした口あたりが人気です。濃縮還元果汁100%

長野県産
トマト

11 信州まるごと
トマトジュース（有塩）
（190ｇ×30本）
信州の太陽をいっぱいに浴びて真っ赤に熟したトマトをギュッと搾りました。天塩で調味することでトマトの旨みが引き出されます。

1990年発売
人気商品

12 はちみつレモン
（190ｇ×30本）
昔懐かしい定番商品！はちみつのやさしい甘さとレモンの爽やかな酸味がマッチした変わらぬおいしさです。

微糖
タイプ

13 ドトールひのきわみ
微糖（ミルク入り）
（260ｇ×24本）
しっかりとしたコーヒーの中にやさしい甘みを感じる微糖タイプです。甘さとミルクがコーヒーの風味をさらに引き立てます。

無糖
タイプ

14 ドトールひのきわみ
ブラック（無糖）
（260ｇ×24本）
後味スッキリ、飲みやすさを追求した無糖ブラックコーヒー。口に広がる豊かな香りをお楽しみください。

JA静岡経済連

担当：くらし支援部　生活葬祭課（054-284-9740）